

本 時 案 （ 第 一 次 3 / 6 ）

- 1 主 眼
被加数が6の場合の繰り上がりのあるたし算で、ブロックや図などを使って計算の仕方を考え、10の補数の関係を用いて計算するよさに気づく。
- 2 準 備
ぬいぐるみ、手紙、算数セット（ブロック、おはじき、計算ボード、ペンなど）
- 3 学 習 の 展 開

過程	学習活動(学習形態)	予想される児童の反応	教師のはたらきかけ
つかむ	1 かず君からの手紙を読んで、学習課題をつかむ。(全) おかげで、たし算がわかってきたよ。今日は、 $6 +$ を教えてほしいな。	<ul style="list-style-type: none"> ・ かずくん、だいじょうぶかな？ ・ よし、がんばるぞ。 	答えが10以下の計算は、既習内容であることに気づかせ、加数は5以上を選ぶようにさせる。
みとおす	2 加数を選択する。(全・個)	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの数を選ぼうかな。 ・ $6 + 1 \sim 6 + 4$は、もう勉強したんだな。 ・ ブロックを使おう。 ・ を書いて説明しよう。 	一人一人に責任感と主体性をもたせるために、加数を選択して別々の問題を解決する形をとる。友達に説明することも考えて、操作活動も選ばせる。操作活動の時間を十分に確保し、方法がよくわかるように絵や図や言葉を使って表現しながら操作させる。
とく	3 計算の仕方を考える。(個)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6の補数4を加えて、10を作る方法で計算する。 ・ 5と5で10を作る方法で計算する。 ・ 数えてたす方法で計算する。 ・ 加数に被加数を加え、10を作る方法で計算する。 	<p>評 10のまとまりを作る方法を考え、具体物を操作できる。 (操作活動、発言)</p> <p>支 10のまとまりを作るよさが感じ取れるような話し合いになるように、一人一人の考え方を把握する。</p>
みがきあう	4 計算の仕方について話し合う。(全)	<ul style="list-style-type: none"> ・ こんなやり方もあるんだな。 ・ 私のやり方に似ているな。 ・ このことを質問してみよう。 ・ 10を作るといいんだな。 	友達の説明に対して気づいたことや付け加えたいことを発表させ、話し合いを深めたい。いろいろな方法を比較して10のまとまりを作るよさに気づくように視点を与えながら話し合いを進める。どんな計算の方法がわかりやすかったか考え、言葉や絵や図を使って、かず君に教えてあげようと投げかける。
まとめる・ひろげる	5 かず君への手紙を書く。(個)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10のかたまりを作るといいよ。 ・ かず君、がんばって。 	<p>評 10のまとまりを作って計算するよさを感じ、自分なりの方法で計算方法を手紙に書いている。 (手紙の表現)</p> <p>支 話し合いによって、どのように児童の考えが変わったか把握し、数えてたす方法から抜け出せない児童には、次時の学習で個別指導を計画する。</p>